

令和4年11月18日  
仙台管区气象台

## 仙台で初霜を観測

本日（11月18日）、仙台管区气象台で初霜を観測しました。  
平年より 4日遅く（平年は、11月14日）、  
昨年より 10日早い（昨年は、11月28日）観測です。

### 参考資料

#### 1 初霜とは

霜は空気中の水蒸気が昇華（しょうか）※して、地面や地物に付着した氷の結晶です。結晶はうろこ状、針状、羽状または扇子状の形をしています。

「初霜」は秋から春に至る期間に初めて霜を観測した日です。

※気体から直接固体に変化すること。

#### 2 観測方法

露場（ろじょう）もしくはその周辺の状態を目視により観測します。観測単位は「日」となります。

#### 3 これまでの観測記録

仙台管区气象台では1926年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：1944年10月 3日（昭和19年）

一番遅い記録（最晩）：2004年12月 3日（平成16年）

本件に関する問い合わせ先 仙台管区气象台気象防災部観測課  
平日 08:30-17:15 Tel 297-8106